

FREE

vol.8
MAY 2014

E-girls

SPECIAL FRONT INTERVIEW -1-
Happiness・E-girls 藤井 夏恋&楓



岡山から日本を元気にするフリーペーパー

MOVE

UPPI

OKAYAMA

This month's "MOVE UP" issue

岡山から日本を元気に!!Special Talk vol.1

石川 康晴×村川 智博

POSITIVE EVENT

Becchio Bambino2014特集

and more...

HEADLINE TOKYO
WEST HEADLINE

発行人: 渡 興典(株式会社HEADLINE WEST) / 一木 広治(株式会社ヘッドライン)
〒700-0925 岡山県岡山市北区大元上町12-14 Leeビル4F TEL.086-250-8089
編集・製作 株式会社ヘッドライン
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-9-6/VILビル3 403号

日本を元気に！



Happiness

藤井夏恋・楓

E-girls のメンバーで Happiness として活躍する藤井夏恋と楓。歌、パフォーマンスに加え、その抜群のスタイルで女性誌の専属モデルをつとめるなど、女の子の間で人気上昇中の2人だ。そんな2人が5月28日に発売される、エイベックスへ移籍第一弾となる6th シングル『JUICY LOVE』に込めた思いや、新しい Happiness を表現できたというPVのことなどについて語る。また、E-girls として初の単独ライブや、プライベートの話、メンバーに対する思いを初告白。“Happiness のメンバーは家族”という2人の楽しそうなガールズトークに注目!

ニューシングルは恋する女の子に贈るノリノリのサマーソング

——5月28日にニューシングル「JUICY LOVE」がリリース

夏恋「ニューシングル“JUICY LOVE”のPVのレコーディングとカップリング曲のレコーディング、そしてPV撮影も無事に終了しました!」

楓「はい!」

夏恋「今回の“JUICY LOVE”という曲は恋する女の子の気持ちを歌った可愛らしい楽曲ですが、恋する女の子って、恋は楽しいけど、ちょっと臆病な気持ちになっちゃったり、不安な気持ちが出てきちゃったり、いろんな感情があると思うんです。ですから、そんな思いを、曲の始まりからサビにかけて、メロディーに乗せて歌っています。そしてサビでは女の子みんなが集まって盛り上がりちゃえ!って(笑)。元気いっぱい夏にぴったりのサマーソングになっています。歌詞もよりリアルに恋心を表したくて、私自身も少し案を出させていただいて、よりリアルメッセージというか、現実感のあるような歌詞にできたかなと思っていますし、等身大の女の子の気持ちを込めたので、聴いてくださる方には Happiness との距離をより近く感じただけだと思います」

楓「そうですね。夏恋が言ったように、リアルなワードが、世代を問わず共感していただけるんじゃないでしょうか。恋する女の子って、年齢問わずに“女の子”になっちゃおうと思うんですよ。そういう気持ちがすごく込められていて、聴いていただいている方が共感できるワードがすごくたくさんあるの

で、あらゆる年代の“女の子”に聴いてほしいです。だからすごくキャッチーでノリのいい曲なんですけど、歌詞カードを見ながら、歌詞の意味もちゃんと見ていただくと、もっともっと楽しんで、好きになっていただけるんじゃないかなって思います。好きになってほしいです」

夏恋「サビで“JUICY”が繰り返されるところもキャッチーだね。それに合わせて JUICY ダンスっていう、曲と一緒に覚えやすいダンスもあるので、そこにも注目して、聴いて頂ければうれしいです。あと、私がキュンとした歌詞は“この頃キミにね 夢中過ぎるの”と“伝えたい…”っていう歌詞。点点点…です! そこに女の子の気持ちを全部伝えるというか、そこに込められた思いの強さを表現したいと思いました」

楓「私はDメロの“逢いたくなったらすぐ Call me 寂しくなったら迷わず Tell me”っていう歌詞にキュンとききました。その歌詞から見える関係性がいい! 女の子って、声が聞きたいだけで電話をしたり、用がないのに会いたくなったりするじゃないですか。そこも共感していただけたと思います」

夏恋「あと、PVでは3パターンの衣装を着させていただきました!」

楓「クールでスタイリッシュなイメージのわりとハピネスのイメージに近いものと、ダンスが得意なメンバーが多いので、それを生かせるようにちょっとかつこいストリート感のあるもの…」

夏恋「あとは、私と楓は専属でモデルもやらせていただいているので、今風のファッションを意識したもの。今年らしいガリーさを取り入れたものをみんなお揃いで着ているので、いろんな Happiness をお見せできると思います。エイベックスに移籍して第一弾のシングルですが、今までの Happiness からちょっと大人っぽくなったというか、成長したところを見ていただけるPVになっています!」

楓「今回は最初から最後まで踊っているシーンがメインで、ボーカルのリップシーン以外はあまりイメージシーンがないので、Happiness を知らない人にも、どんなグループなのかを知っていただけるPVになったんじゃないかな。Happiness って、ダンスも踊れてこういうグループなんだって。あと、さっき夏恋も言っていましたけど、JUICY ダンスも楽しいので、ちょっとダンスに興味があるっていう方も真似しやすいと思いますし、ダンスをやっている子は、ダンスメインなので、全部真似していただいたり、一緒に楽しめるPVだと思います」

——7月にはE-girlsとしては初となる待望の単独ツアーを全国3カ所で開催が決定。

夏恋「そして7月にはE-girlsとして初の単独ツアーをアリーナでさせてもらえることになりました!」

楓「やったー!」

夏恋「今までと違って規模が大きいので、

すごくワクワクしてますし、E-girls は、人数が多いので、そういう大きいステージでも見せられることがたくさんあると思います。これまで、イベントなどでファンの方と接してきて、単独ツアーを楽しみにして下さる方もたくさんいるって感じていたので、その期待にこたえられるような、E-girls らしい、ほかのアーティストさんにはないようなキラキラ感を出せるライブにしたいね」

楓「うん。来てくださる方に楽しんで喜んでいただきたいよね。そのために今からメンバーやスタッフさんといろいろ考えていければ。来てくださった方がライブを見て、ハッピーになったとか、元気がもらえたとか、笑顔になれたとか、少しでも人の気持ちを動かせるようなライブにしたい。そして、またE-girlsのライブに行きたいなって思ってもらえるようなものを作っていきたいです。ライブについては、もう毎日すごく考えてます(笑)。メンバー同士でもご飯を食べている時に、こういうことしたら面白いよねとか、よく話しますね」

夏恋「E-girlsのメンバー会議では、メンバー全員とか、時にはHIROさんも入って下さり、意見をいう場があるので、そういうところでもどんどん意見を言いたいです。たくさんスタッフさんもいてくれますし、案もみんなを出し合えば、よりいいライブが作れると思うので。例えばシングルを出すときにも、それについてみんなで話し合う機会を設けて下さり、意見を取り入れてくれることもあるので、とてもありがたいと思っています。素敵なライブになると思うので、楽しみにしていて下さい!」

Happiness…みんなをハッピーにするガールズパフォーマンスグループ。デビュー前から Happiness として EXILE のツアーやプロモーションビデオに出演し、ミスタードーナツのCMにも出演。2011年2月、『Kiss Me』でデビュー。2012年6月、1st アルバム『Happy Time』をリリース、オリコン10位にランクイン。2013年6月に須田アンナ、川本璃の2名が新加入。8人グループとなり、さらにパワーアップした Happiness 2nd シーズンが始動。EXILE の DNA を受け継ぐ本格的なダンスパフォーマンスを展開する。ガールズ・エンターテインメント・プロジェクト“E-girls”としても活動中。

藤井夏恋 (ふじい・かれん) 1996年7月16日生まれ。大阪府出身。A型。164cm (写真:左)
楓 (かえで) 1996年1月11日生まれ。神奈川県出身。O型。168cm (写真:右)

Happiness のメンバーに会うことで元気になれる

——自分がポジティブだと思うとき

「私は嫌なことがあると、自分で解決しようとして、それが余計にストレスをためてしまうことになるんですけど、そうなったら、自分の意思で深く考えることをやめて、先を見るようにします。あえて深く考えず、もっともつと先を見て、嫌なことを忘れる(笑)。そういう面ではすごくポジティブな性格だと思いますね。メンバーが落ち込んでいるときは、その子の性格を見極めて接します。何か聞

いてあげたほうがいいなっていう時は状況に応じて、話を聞きますし、そっとしておいたほうがいいなっていう子の時は話しかけないことも。それは人それぞれですね。E-girlsは個人で活動しているメンバーが多いので、ばらばらな事が多いですけど、久しぶりに会った時とかは、Happiness に会っただけですっごいストレス解消になる(笑)。今回のように、シングルを出させていただくときは、Happiness で集まる機会も増えるので、それもうれしいです」

——一人になった時の自分は？

「休みの日はショッピングに行くことが多いです。自分で洋服選んで、メイクして。メイクは人にしてあげるのも好き。あとは一人で街を歩いてカフェに入って小説を読んだり、音楽を聴いたりしています。ずーっとイヤホンをして、自分の世界に入っています。あとは、映画を見るのが好きなので、自宅で映画鑑賞。ちょっとミステリアスな映画を並べて4本続きで見たりとかして。ちょっとした

映画祭みたいになっています。ポジティブな映画も大好きですが、意外と映画や小説は暗い話も好き。暗い映画を見るときは一人で部屋にこもって、明かりは真っ暗にして見る。あれ？ これってポジティブなのかな(笑)」

これからも進化して新しいHappinessを見せていきたい

——今後のHappinessは？

「これからもHappinessの仲の良さで、新しいHappinessを見せていければいいなと思っています。今回のニューシングルの“JUICY LOVE”でも歌詞に案を加えさせていただいたりしたので、そういう面ではもっともっと、よりHappinessとの距離を近く感じていただきたいです。あと、共感をたくさん得るような歌詞を自分でも、ボーカルの2人でも書いていきたい。作詞家さんにもいつもすごく素敵な歌詞を作っていただいているのですが、それに加えてボーカルだけじゃなくて、パフォーマーの子からもちょっとワードをもらったりしながら、今のリアル感を足していけたらと思っています。より私たちの年代の女の子の等身大の子にもささるし、幅広い年代の方にも私たちの思いが伝わる気がしています」

——岡山の読者へメッセージ

「岡山へは行ったことがなくて、あまり行く機会もないんですけど、E-girlsも含め、Happinessとしても岡山のみなさんと仲良くなりたいです！ Happinessのパフォーマンスも生で見たいと思っていますし、イベントなどで、Happinessとファンのみなさんの距離を縮めたい。Happinessのメンバーはすごくポジティブで元気で人見知りやまったくしない子ばかりなので、皆さんとすぐに仲良くなれると思います！ あと、フルーツの中で桃が一番好きなので、ツアーの間とかでも、ひよっこり遊びに行くかも(笑)」



メンバーやスタッフとのおしゃべりで笑顔になれる

—— Happiness はどんな存在？

「私、ストレスフリーなんです（笑）。ストレスがたまらない。っていうか、そもそもストレスって何なのかよく分かっていないかもしれないです。だからストレスもなく毎日楽しんでいます！ 何かで解消しているのかな？ いろいろな人に常に笑顔だねって言われるので、笑顔でいることでストレスがないのかも知れないですね。Happiness のメンバーとは5年間一緒に、レッスンや寮生活をしてきたので、大体のことは分かりますね。で

も例えばみんなで集まって車で移動する時なんか、車内が揺れるぐらいのさいです（笑）。一人が曲をかければ、全員でその歌を歌ってキヤーキヤー言って、常に笑っています。一緒にいると本当に楽しいし、家族みたいな存在です」

—— 一番楽しい時間

「人と話すことが大好きなんです！ もちろんメンバーともそうなんですけど、お休みの日とかは、事務所に来てスタッフさんとずっと

話をしていたりします（笑）。人と話すといろいろとアドバイスをいただけるし。でもそんな仕事っぽい話じゃなくて、全然たわいもない話も大好き！ すごく楽しくて、美容院とかに行っても、美容師さんとずっと話しています（笑）。話しているだけで常に笑顔になれますね。あとはお天気のいい日に歩きながら音楽を聴いている時です。天気がいいと、1時間ぐらいかかりますが、家から事務所までとか、普段は電車に乗るような距離でも歩きたくります。そういう時は早く家を出て、イヤホンをして自分の好きな音

楽をずっと聴きながら歩くんです。最高に気持ちが良いって、ほんとにハッピーって思うんです」

—— ファッションのこだわりは？

「スタイルがよく見えるファッションが好き。重ね着とかあまりしないので、シンプルで、いかにスタイルがよく見えるかというのにこだわっています」

日本中に Happiness を届けたい

—— パフォーマンスを通して伝えたいこと

「Happiness はLDH（所属事務所）の“H”つまり“幸せ”なので、私たちは常にパフォーマンスを通して、日本中に元気と幸せを届けたいと思っています。パフォーマンスを見て下さったお客様が、みんな幸せになればいいなという思いでやらせていただいているので、少しでもそれが伝われば。Happiness としては、これまでなかなか行けてなかったところにどんどん行きたいですね。やっぱり直接ライブを見てもらったほうが伝わるのがたくさんあると思うので、日本中のいろいろな地域に行ってライブをしたい。直接パフォーマンスを見てもらって、幸せだったり、何か温かい気持ちだったり皆さんに届けられたらいいないつも思っています」

—— 岡山の読者へメッセージ

「これまでなかなか行く機会がありませんでしたが、ぜひ行ってパフォーマンスを見ていただき、直接皆さんとパワーの交換をできたらいいなと思います。多分、岡山のみなさんの中には、まだまだ E-girls や Happiness を知らない方もたくさんいると思うので、イベントや生パフォーマンスを見ていただける機会があればうれしいです。私たちもみなさんに会えるように頑張るので、行くことができたなら、ぜひぜひ会場に足を運んでみて下さい。あと、プライベートでは、最近東京から離れたところに行ってみたいなと思っているので、岡山には桃を食べに行ってみたい！ 桃が大好きなので、それを食べに行くだけっていうのも楽しそう（笑）」



Happiness KAREN & KAEDE'S POSITIVE ITEM

いつも前向きな夏恋と楓の気持ちがアガるポジティブアイテムを紹介

MEANS

少女漫画 (楓)

ちょっと切ない少女漫画が大好き! ラブラブキュンキュンじゃなくて、最後にはハッピーエンドになるんだけど、それまでにいろいろな波があるやつ (笑)。今読んでいる『胸が鳴るのは君のせい』は、仲のいい男友達がいる、その子に告白をするんですけど、振られちゃって…。そこから、ライバルが出現したり、すごい展開があるんです。もうドキドキしながら読んでいます。



MEANS

映画 (藤井夏恋)

映画を見ると自分の感情も豊かになるのを感じます。表情で感情を読み取って、それを自分のパフォーマンスの参考にすることも。最近「さよなら溪谷」、「ヒミズ」、「霧島、部活やめるってよ」を見ました。



MEANS

晴れの日 (楓&夏恋)

晴れの日は無条件にテンションが上がる (楓)。楽しくて一日が早く感じるよね (夏恋)。晴れの日にかにいたり、スタジオにこもっていたりするのがすごくイヤ (笑)。なんかもったいなくて、外に出たいって思っちゃう (楓)



PRESENT

夏恋さんと楓のサイン入り色紙を読者3名にプレゼント!

応募方法などの詳しい内容は「OKAYAMA MOVE UP」公式 facebook ページよりご覧下さい!

OKAYAMA MOVE UP

検索

6th Single 「JUICY LOVE」

Happiness の avex 移籍第 1 弾シングルは、リフレインされる心地よく耳に残るサビメロディーと、女の子のキュートな恋する気持ちを歌った歌詞に、鋭く硬質なサウンドと強いビートを融合させたスーパーソリッド & POP チューン。CD only 形態のほか、DVD 付き形態にはこの新曲の Music Video を収録した作品をリリース!

[CD+DVD] JUICY LOVE
2014-05-28 RZCD-59580/B 1944 円 (税込)

[CD シングル] JUICY LOVE
2014-05-28 RZCD-59581 1296 円 (税込)



岡山から日本を元気に!

OKAYAMA MOVE UP

Special Talk vol.1

LOVE

0 から 1 を 生 み 出 す チ カ ラ

LIVE

大好きな岡山を、住みたい街へ



株式会社クロスカンパニー代表取締役社長

石川 康晴

ベクトルグループ代表取締役社長

村川 智博

岡山から日本を元気に!

OKAYAMA MOVE UP

Special Talk vol.1

石川康晴 Yasuharu Ishikawa

株式会社 クロスカンパニー 代表取締役社長

1970年生まれ岡山出身。95年クロスカンパニーを設立。99年に「earth music&ecology」を立ち上げ、現在では他ブランド含め、国内店舗数約560店舗まで拡大。2011年9月には中国に進出。一方、女性支援制度を中心とした社内制度の充実、環境活動や地域貢献へも積極的取り組み、東日本大震災で被災者100人の雇用を行った事でも話題となった。

OKAYAMA AWARD 実行委員会 会長も務める。



戻る場所。

しては、企業が成長して納税をすとか、企業が成長して影響力を与えられるところに、縁もあると思うんです。やっぱりそういうところからまず大事にしたいという

岡山のブランディング構想

山大学にそういうような学科を作るとか。そういうところがすごい大事だと思ってるんですが、勉強できるツールがないので結局来ないんです」

―地元岡山への想い、また存在を一言でいうと。

石川 「戻る場所だと思っんです。週の大半は東京か上海かヨーロッパかアメリカっていう感じですけど、今も週末は戻っています。やっぱりこの街に戻つてくると落ち着くし、自分を取り戻せるし、60歳、70歳のことを今から考えるのは早いと思うんですけど、多分そのころになつたら、給料とか無しで、いろんな人たちと会って、いろんな団体と交流して、ほんとに無償の心のボランティア精神で岡山をよくするための活動をしながら、最後は棺桶に入つて、棺桶菊とかいらないので、うちの服で埋めてほしい(笑)。それぐらい僕は岡山が好きで洋服が好きなので、そういう生き方をこれからもしていくと思います。また、僕しかできないことをひとつ残したいので、岡山市に世界の人が注目する現代アートの世界一の美術館を作りたいと思っっています。そのプレをあちこちで始めるんですけど、実際、岡山市街地に現代美術館、コンセプチュアルアートミュージアムですね、これができるとは10年ぐらいかかると思っんですけど、それができた瞬間に倉敷の大原美術館、瀬戸内の地中美術館などのミュージアムという点が線に繋がって、漢字の岡山から多分カタカナの「オカヤマ」に変わり、「クリエイティブシティオカヤマ」だよって欧米の人から言ってもらえる。また、そのメディアの紹介を見たASEANとか中国人が岡山へ来はじめる。死ぬまでに岡山を国際都市にしたいですね。僕はアートの力とその上には服の力という想いがあります。服で儲けないとアートにお金を突っ込めないし、服で儲けないと教育にも突っ込めないんです。服の力で教育とアートのツールを手に入れて、ソフトの面でもハードの面でも岡山を良くしていきたいと思っっています」

村川 「僕もよく自分の家みたいなものと思っます。最近よく東京に行くんですけど、帰つてきたら本当に落ち着きます。でもその反面、なんとかしたいという想いが湧くんです。今、MOVE UPも一緒にさせてもらっ

岡山の若者へのメッセージ

そういう岡山への想いや、岡山での自分を見つめ直して一言で言うとな、僕にとつて岡山は根っこのようなものですね。根は普通で、決してぬけることもないので」

石川 「県民の意識改革つてちよつとやそつとじゃ変わらないんです。でも誰かが「0」しかないものを「1」にしないといけないって、「0」を「1」にする人つて悪者になるんですよ。僕も防弾チョッキに穴が空きそうなんですけど(笑)。ただ誰かが突破していつて、でもその「0」を「1」にするのつて、10年とか20年先に評価されるものだと思うんですよ。正しいことさやつていけば、人からどんなに文句を言われても、必ずいつかは認めてもらえるという信念があるので、これからは「0」を「1」にながら、嫌われ者役を岡山で承つていきたいと思っっています」

―これから担う若者へメッセージをお願いします

石川 「食とアートっていうのが、これからの岡山の新しいソフトになると思っんです。ぜひ岡山の女性には瀬戸内イタリアンという言葉をはやらせてもらいたいですね。瀬戸内海つて、たくさん海の幸があつて、それを利用して、低価格でやるイタリアンつてたくさんあると思っんですよ。いくらアートがあつても、美味しいものがないところつてあるんです。例えばアメリカとかね。いくら優秀な美術館があつても食べ物かステーキとハンバーガーしかないんで、全然スタイリッシュじゃないんですよ。岡山は新見のワインもあるし、千屋牛もあるし、新庄村の有機栽培の野菜もあるし、瀬戸内にはいっぱい小魚、甲殻類もあるので、それらを混ぜ、岡山に数多くあるイタリアンレストランは美味しくて、リーズナブルでスタイリッシュだということを、女子力で広めてもらいたいと思っます」

村川 「いろんなことに挑戦してもらいたい。挑戦するということがすごい大事だと思っんです。成功と失敗つて裏腹で、失敗の中にも成功があるし、成功の中にも失敗があるので、いろんなことにチャレンジをする若者が増えてほしいと思っます。そして岡山がそんなチャレンジスピリットがあふれる街になつてほしいと思っます」

「さまざまな地域貢献をされていますが、地元への想いを教えてください。」

石川「岡山で生まれて、岡山で育つて、岡山で起業して。特に創業3年間は岡山を中心にお店をやっています。僕の場合、当初アメリカとかヨーロッパで商品の買い付けをやっていたのですが、意外とヨーロッパの人って扱いが悪くて、Tシャツ買付けきたけど口紅がついていたりとか、ワンピース買付けきたけどタバコの灰が落ちて、穴があいていたりしてなんです。でも当時の僕たちはそのワンピースやTシャツを捨てる余裕がないんですよね。捨てたら生活できなくなっちゃうので。そうなるとお客さんに、ちょっとワンピース穴空いてるんだけど、買ってもらえないかなって言うわけですよ。そしたら「お兄さん死にそうだから買ってあげよ」と言われて、同僚で買ってくれるわけですね。同じく口紅のついたTシャツもそうなんですけど。今、日々6000数店舗を展開する中で、1店舗で1日100万、200万売れる店もありますけど、当時そんな不良品を定価で買ってくれたお客様にもすごく感謝を刻んでるんです。表町で4坪の敷地で始めて、創業当時から応援してくれて穴の空いたTシャツやワンピースまで買ってくれたお客様がいる岡上に、いろんな形で貢献して、あの時穴の空いたワンピースを買ってあげたお兄さんが今も頑張ってるって、誇らしげにいつてくれることが、すごく嬉しいことなんです。そういう想いで、岡山へ地域貢献したい特別な想いが僕の中にあるんですよ。なので今、アートプロジェクトっていうのをやっているんですけど、これからも新庄村とか、新見市とか、西粟倉村とか、中山間地域を食とアートで元気にしていきたいし、一方で岡山市に大きなコンテンツがないと思うんです。やっぱり桃太郎だけでは世界で売れないので、岡山市でも将来美術館を建てるとか、そういうアートシティ岡山っていうのを僕は社会貢献、文化の振興という観点で応援していきたいなと思っています。」

村川「僕はこちらかという地元岡山がとても好きなんですけど、自分の考え方で、まず身近からっていうのがすごいあって、まず家族だろうし、その次に会社だろうし、その次に岡山だろうっていうのがあって。企業と

地元岡山への想い

のがすごくあります。だから岡山で自分たちができるところって何なのかなって思った時に僕が1つ思っているのは、インターネットの社会が急速に広がっている中で、ITの優秀なエンジニアはほとんど東京にしかないんですよ。岡山で中小企業の経営者と話をしても、そんな話題にならないですが、東京で話をすれば、やはりそういうような話題になるんです。そういう環境を岡山に作るっていくということがすごく大事だと考えています。そういうことから、今「ベクトル大学」、「ECカレッジ」というセミナーを岡山で行っています。そういうようなことをして、少しでも岡山が良くなるために、学んだり成長したり、そういうことに気づいてもらう場所を作ろうというのが今ありますね。」

石川「教育こそが財産だっていう考え方が、多分共通点なんです。僕が行っているもうひとつの社会貢献事業として、「OKAYAMA AWARD」というのがあるのですが、天皇陛下とか知事とか山陽新聞社の社長から高齢者の方への表彰はたくさんあるんですけど、30代、40代のいちばん頑張ってる経営者を表彰する制度っていうのは日本の社会にはないんですよ。でもすでに十分活躍されている立派な方よりは、これから伸び代がある若い人を表彰して、表彰されたっていうことを、更なる発展のプライドの盾にしろって、例えばOKAYAMA AWARDを取ったから、もっと頑張らなきゃいけないみたいなニトロエンジンのように、僕たちのOKAYAMA AWARDがなればいいなと思っています。なお金こそが財産だっていう発想は僕たちにはなくて、お金を残すぐらいだったら、家族にも教育にお金を突っ込んだほうがいい、というような感覚です。それは会社にお金を残すぐらいだったら、社員に教育を受けさせたほうがいいとか。どこかに多額な寄付をするぐらいだったら、教育に突っ込んだほうがいい。僕たちはOKAYAMA AWARDのアワード塾というものを行っています。まず、ベクトル大学であれば、様々なジャンルの講師を呼んで、その人のいろんなケースを受講生に聞かせてます。教育っていう概念を岡山に根付かせることが多分岡山が強くなることだと思っていて、それをいろんな違う角度からやっているっていうのが共通点だと思います。」

村川 智博 Tomohiro Murakawa

ベクトルグループ代表取締役

1976年生まれ 岡山出身。2003年2月にベクトルグループを設立。リサイクルを中心とした事業を展開し、ベクトルホールディングス株式会社、有限会社ベクトル、株式会社ベクトルラス、株式会社マイモードなどの代表を務める。また、人材育成を目的としたベクトル大学も創設しており、学長も兼任。そして新たにカフェの運営、岡山の特産品販売なども展開中。

石川「ソフトの部分はやっぱり教育だと思うんですけど、ハードなコンテンツがあると思うんですよ。やっぱり外国人が来てくれるような街にしなきゃいけないと思ってるんです。」

— シリコンバレー化？

村川「僕も先日、経済産業省の松島副大臣に提言したんですけど、シリコンバレーみたいになり、ITを勉強するようなソフトビージャパンというものがあるんですけど、そういうようなものを岡山に持ってくるって、岡

ますが、いろんなことをやってみて、市民意識っていうか、自分たちの意識の変革をみんなですべてしていきたいなと。このままじゃダメだと思ってるんですよ。それって意識を変えないといけないって、意識を変えるために自分たちができることをやってみていくのがすごい大事なかなと思います。やってみていくと、やれることが増えていくっていうのがすごいわかってきて、やってみていく仲間作りをどんどんしていけば、それが大きな力になるんじゃないかなと思います。一生懸命やってみていきたいですよ。」

根源。

Be POSITIVE

Culture/Item/Entertainment and more

人に元気を与える人になるには、自分自身が元気でハッピーじゃなきゃ。ムかつくこと、悲しいこと、情けないこと、失敗すること、心が痛くなる出来事…。毎日毎日嫌なことはあるけど、ほんの少し見方を変えて見ることで、気持ちは前向きに立て直せるはず。そんな時、そっと背中を押してくれるさまざまなモノ。友達、家族、ペットなど心許せるモノをはじめ、楽しい映画、ノリノリの音楽、感動的な本など、心に響くものを誰でもひとつ持っている。また、それだけ

ではなく、髪形を変えたり、旅行に行ったり、美味しいものを食べたり、やってみたかった習い事に挑戦したり、自分を変えてみることで、人生が楽しくなる方法もたくさんあるはず。そんなポジティブになれる最強のカルチャーやアイテムやエンターテインメントなどをご紹介します。あなたの気持ちがハッピーになるようなモノに出会えますように。

東日本復興チャリティー

『夢の駐車場』開催！

B級グルメやフリーマーケット、音楽イベントやアトラクションなどが集結し、『岡山を元気に！岡山から日本を元気に！』というテーマの下、地域の活性化と東日本復興チャリティーを目的とした今年度から開催されていく『夢の駐車場』。第1回目は、早島マルハチ1P 5S、早島マルハチ25の敷地内にある駐車場で行われた。

1週間前から雨だといわれていたが、イベント当日は運が良く快晴。日差しがとても強く真夏日和。両日朝9時からイベントはスタートされ、徐々にお客さんも入って来ている様子もちらほら見える中、子供に大人気だったのが『ななちゃんのお家』、『ななちゃんフワフワ』、『バルーンアート』。ご遊戯をする際には募金を行うといったチャリティーらしさが全面に出されているアトラクションブースでした。また、各ブースにも同様、募金箱が設置されていて皆さん快く、募金をしている光景がたくさん見られました。

お昼になるにつれて日差しが強くなっていく中、開催されたステージイベント。ななちゃんとプーデルが登場し、子供たちも大興奮。写真を撮ったり、触ったりする

など、多いに喜んでいました。そして2日かぎりの生ライブ。さまざまなジャンルのアーティストやダンスチーム、お笑い芸人など、岡山出身で岡山を中心に活動を行っている人たちが多数出演。『倉敷天領太鼓』や『座・平面図』、『naom'ey』、『Luz & Jera』など、郷土愛を大切にしている方ばかりで、とても元気になれるパフォーマンスや感動するパフォーマンスなどで観客を魅了していた。イベントスタッフも一緒に盛り上がっている様子も見え、楽しいステージイベントとなっていた。

そして、食のコーナーでは、B級グルメやお菓子詰め放題コーナー、岡山県内の特産品や、県外の方が県内で作られている加工品などを扱っている『サンさん岡山』も出店しており、皆さんお腹いっぱい美味しく堪能していました。

イベント最終日にはチャリティーオークションが行われ、すべて完売し、寄付金へとつながった。たくさんの夢が詰まった2日間。『夢の駐車場』は継続的に行われるとの事。次回は、どこの駐車場に夢を乗せるのでしょうか。今後にも期待だ。

今回集まった寄付金は総額33万9510円にのぼった。そして、今回集まった寄付金は、OKAYAMA MOVE UPを通じて社会福祉施設等へお贈りするそうです。具体的な寄付金の贈り先は、OKAYAMA MOVE UP 公式FACE BOOK ページにて近日公開との事。



Luz&Jera

僕は東京でずっと活動していたんですが東日本大震災がきっかけで岡山へ帰って来て、地元での音楽活動を始め、約3年経つのですが、僕の中で復興から学ぶ郷土愛というところがあり、岡山を盛り上げたいという大きなテーマがあります。その中で、岡山だけで音楽活動ができる環境、基地を自分たちが作るというのが目標で、そして、これから若い世代でアーティストになりたい子たちが岡山という舞台が小さい舞台ではなく、岡山が大きい舞台となって岡山で音楽活動をし、有名になり、岡山から発信をしていき、岡山でやっている事が全国につながる動きになり、それが音楽を通じて大きなムーブメントになるのが僕の夢です。
オフィシャルサイト <http://www.luz-and-jera.jp/>



玉川 洋輔

僕の夢は、音楽活動でまずは岡山から盛り上げられたらいいなと思っています。音楽活動で岡山を盛り上げていき、全国へ出てさらに全国から、シンガーとして岡山を元気にしていきたいです。



naom'ey

私は小さい頃から歌う事が大好きで、今の夢はまず岡山の方全員にナオミという名前を知って頂きたいです。



座・平面図

岡山でもイベントなどたくさんある中で、もっとたくさんの方が参加して、積極的になって岡山を盛り上げていきたい。



るもん

まずは岡山でたくさんの舞台に出て皆さんに知って頂きたいです。そして、あわよくばテレビにも出たいですね(笑)。

美味しい。楽しい。欲しい。
ぜんぶ、おかやま

東日本復興チャリティー

夢の駐車場 in はやし

Dream Parking in Hayashima. supported by OKAYAMA MOVE UP



EXILE に白濱亜嵐ら 新メンバー 5 人が加わり 19 人に！

EXILE 新メンバーを決定するオーディションの最終審査イベントが 27 日、東京・日本武道館で行われ、ファイナリスト 11 人のうち 5 人が選ばれた。新たにパフォーマーとして加わったのはシード参加から岩田剛典（三代目 J Soul Brothers）、白濱 亜嵐（GENERATIONS from EXILE TRIBE）、関口メンディー（同）、一般参加から山本世界、佐藤大樹。これにより“新生 EXILE”は 19 人で第 4 章に向けて始動する。

ファイナリストと EXILE TRIBE によるパ

フォーマンスの後、ステージに HIRO が登場。一人ひとり、HIRO から名前を呼ばれ姿を現した新メンバーたち。会場の大歓声に包まれて、号泣するメンバーの姿も。イベント後の取材で HIRO は、今回の新メンバー選考について「人数は決めず人ありきで選考し、最終的にこの 5 人になりました。新たな可能性を生み出してより強い EXILE になれるのではと期待しています」と語った。

新生 EXILE は今後、7 月にニューシングルをリリース。来年には単独ツアー『AMAZING WORLD』を行う予定。



伝説の“ワルメン”映画がよみがえる！ 『クローズ EXPLODE』

累計発行部数 7500 万部を超える不良漫画の金字塔にして男たちのバイブルを映画化した大ヒットシリーズ最新作。映画第 1 作『クローズ ZERO』で“ワルメン”ブームを巻き起こし、続く『クローズ ZERO II』は前作をしのぐ大ヒット。それから 5 年、ついに新たなワルメン伝説が幕を開ける！『ZERO』のその後を描くオリジナルストーリーを、豪華なキャスト&スタッフで描く注目作だ。

今回、新たに若き“カラス”たちを演じるのは、豪華で旬な男優陣。主演には、『桐島、部活やめるってよ』で日本アカデミー新人俳優賞を受賞し、NHK 朝の連続テ

レビ小説『ごちそうさん』でヒロインの相手役を務めた東出昌大を抜擢。さらに、劇団朱雀の二代目として活躍する早乙女太一、多彩な作品で存在感を発揮している演技派・勝地涼、三代目 J Soul Brothers のパフォーマーとしても活躍する岩田剛典、『ふがいない僕は空を見た』など難役でも評価される実力派・永山絢斗、『誰も知らない』でカンヌ国際映画祭最優秀男優賞を受賞、近年は『許されざる者』など話題作が続く柳楽優弥ら、同



©2014 高橋ヒロシ / 「クローズ EXPLODE」製作委員会

世代のオールスターが集結。『青い春』『空中庭園』などで高い評価を集める豊田利晃が監督を務める。

“頂点”の席を狙って繰り上げられる壮絶な内部抗争の果てに待つ、鈴蘭高校のピンチとは…!?

STORY：新年度を迎えた鈴蘭高校では新 3 年生たちが新たな“頂点”の座を狙っていた。しかし、頂点に最も近い男・強羅徹の前に、頂点争いに興味を示さない転入生・錦木旋風雄と、好戦的な暴れ者・加賀美遼平が現れたことで、かつてない内部抗争が勃発する。
監督：豊田利晃 出演：東出昌大、早乙女太一、勝地涼、岩田剛典、永山絢斗、柳楽優弥他 / 2 時間 9 分 / 東宝配給 / 全国東宝系にて公開中 <http://www.crows-movie.jp/>

EXILE TETSUYA “男を上げる” Monthly Column supported by ANGFA

DANCEの道

第 20 回 まだ見ぬ一歩を踏み出す勇氣

毎年目黒川の桜はきれいですが、今年の桜も最高に素晴らしかったです。短い期間ですが毎年新しくつぼみが開いて花が咲くのをしていると、新入生や新社会人を歓迎しているかのようで心が弾みますし、何か一歩を踏み出す勇氣を与えてくれる。そんなこの季節が僕は大好きです。

EXILE も今月、いまだ見ぬ新しい一歩を踏み出そうとしています！ 4 月 27 日、日本武道館で行われる PEFORMER BATTLE AUDITION で EXILE の新しいメンバーが決まり、EXILE の第四章がスタートします！ 新たな力を迎え、思いっきりパワーアップした EXILE を皆様に楽しんでいただけるように、PEFORMER BATTLE AUDITION に臨みたいと思います。

リハーサルでは、武道館用に振りを新しくしたり演出を考えたりと、たった 1 日のステージを思い浮かべながらみんなで踊っていると、すごくワクワクしてきます。ぜひ皆さんも

楽しみにしていてくれたらうれしいです。

さて、ダンスアースプロジェクト舞台『Changes』も本格的に稽古をしています！ 1 年ぶりに稽古場でお会いした岸谷五朗さんはやはり最高な方です。お芝居の難しさや素晴らしさ、稽古の大切さ、みんな

なで一つのエンターテインメントを創り上げる喜びを日々教えていただいています！ ダンスアースメンバー全員が全力で生み出す『Changes』！なにやらすごいことになりそうです！



『Changes』の稽古に励む、TETSUYA とメンバーたち

神奈川県横須賀市出身。19 歳からダンスを始め、横須賀、横浜、東京などのクラブイベントで活動。2004 年 8 月、EXILE 主演ミュージカル「HEART OF GOLD ～ STREET FUTURE OPERA BEAT POPS～」に出演。ダンススクール「EXPG」にてインストラクターをしながら、さまざまなアーティストのバックダンサーとして活動。2007 年 1 月、新生 J Soul Brothers のメンバーに抜擢され、2009 年 2 月にデビュー。同 3 月 1 日からは EXILE のパフォーマーとして多方面で活躍。出演中のアンファー「薬用スカルブ D」の CM が現在オンエア中。





南米田舎屋料理店

TAVOLA TAPAS

— タポラタパス —

Chef 福丸 雅之

ふくまる まさゆき

1978年4月28日生まれ鹿児島県出身。以前福岡に在住している際に、知人の紹介でダイニングバーの手伝いで22歳の時に岡山へ。そして、有限会社 有園に25歳で入社。そこからグループ店で修行を行い、2010年に設立された『TAVOLA TAPAS』の店長に就任。

この世界を目指すようになったきっかけ

きっかけはほんと突発的で、知り合いの店のお手伝いがきっかけで料理を始めたんですけど、その中でいろいろな人の料理を見たり、食べたりしていくうちに、もっとたくさんのことを知りたいという探究心が芽生えました。そしてお客様にも、もっと喜んでいただきたい、美味しい物を提供したいという気持ちがどんどん出てきて、料理の世界へ興味が沸き、料理の魅力に引き込まれていきましたね。

この仕事にやりがいを感じる瞬間

やっぱりお客様に喜んで頂いた時が一番うれしいですね。後は、ご来店いただいてメニューとは別のそのお客様だけの為に私が出来る精一杯の料理をご提供した時に、感謝の気持ちをいただいた時はとても嬉しい瞬間ですね。美味しいという言葉をいただいた時は、また喜んでもらおう!もっと喜んでもらおう!もっと勉強しよう!と思いますね。

尊敬している人はいますか?

弊社のオーナーですね。弊社に勤めたいと思ったのも、私はオーナーの料理の味が大好きで。オーナーは大変『人』を大切にされる方で、弊社のコンセプトも『人』なので、そういったオーナーの人柄にもすごく憧れていますし、最も尊敬する人ですね。そして追い越せるように日々、取り組んでいます。

これだけには誰にも負けられないということは

1番はお客様に満足して帰っていただくという思いですね。自己流ではあるのですが、イタリア料理でありながら季節の旬な食材をふんだんに使ったりなどいろいろな物を取り入れて、季節を感じて頂けるイタリア料理を提供したりといったところです。

今後の夢

弊社のグループに入って約11年になるのですが、現在の目標はお店を繁栄させて、そしてグループ全体を繁栄させていきたいです。

～読者の皆さんへ～

料理もお酒も色んな種類がありますし、グラスからのご提供なので、本当に気軽にご来店して頂けるようなスタイルです。テラスなども設備していて、これからの季節には最適だと思いますので、お気軽にご利用して下さい!

>>編集部 追記

岡山市内の西側通りに面する“TAPAS”さん。南米田舎屋料理をBGMと一緒に、店内からも店外からも感じる事ができます。オススメ料理はやはり、“シェフのおまかせ料理”。季節の旬な食材をふんだんに使用し、その時期にしか味わえない、美味しい料理が食べれます。ドリンクもアルコールからソフトドリンクまで種類も豊富で、アルコールだと“スパークリングワイン”、ソフトドリンクだと、“ブラットオレンジジュースのジンジャール割り”がオススメです!お友達やカップルでも楽しめる、そんな空間です。



TAVOLA TAPAS 南米田舎屋料理店



住所: 岡山市北区幸町5-14 ホワイトボックス 1F
 電話番号: 086-234-8816
 店休: 月曜(祝日の場合は翌日)
 パーキング: なし/お一人様単価: 3,000円~
 営業時間: ランチ[平日] 11:00~14:00
 [土日祝] 11:30~14:30
 ディナー[平日・土日祝] 17:30~22:30
 (ラストオーダー 21:30)

